

羽島市立桑原学園で防災講座を行いました

令和8年9月25日（金）、羽島市立桑原学園で1～5年生約50名に地震、6～7年生約40名に水害の防災講座を行いました。学校は、木曽川と長良川に挟まれ、近くには桑原川が流れ水害リスクが高く、また、揺れやすく液状化の恐れがあるなど地震リスクも高い地域に位置します。この学校での講座は5年目となります。

地震の講座では、岐阜県で甚大な被害が発生した濃尾地震や令和6年能登半島地震、今年の熊本地震、液状化現象などを学習しました。液状化現象については、ペットボトルを使った実験キット「エッキーくん」を各自で作成し、実験を交えながら発生の仕組みを考えました。

水害の講座では、羽島市でも被害のあった伊勢湾台風についての学習や、映像・VRによる浸水疑似体験、伊勢湾台風A I 語り部との対話体験を行いました。A I 語り部との対話体験では、グループに分かれて各自が聞きたいことを質問し、伊勢湾台風への理解を深めました。

今回の講座が、児童・生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

地震



水害

